

令和2年度

通常予算補足資料

高萩市

目 次

(新) : 新規事業 (拡) : 拡充事業

【一般会計分】

1	(新) 障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画策定経費	社会福祉課	補足資料①
2	総合福祉センター空調設備改修事業	高齢福祉課	補足資料②
3	(新) 総合福祉センター消防設備改修事業	高齢福祉課	補足資料③
4	(新) 子育て世代包括支援センター事業経費 (基本型・母子保健型)	子育て支援課、 健康づくり課	補足資料④
5	地域医療対策事業経費	健康づくり課	補足資料⑤
6	(新) 産前・産後サポート事業経費	健康づくり課	補足資料⑥
7	個別予防接種委託料	健康づくり課	補足資料⑦
8	市営住宅整備事業 位置図	建設課	補足資料⑧
9	(拡) 学校運営協議会経費	学校教育課	補足資料⑨
10	(新) ヤング・アメリカンズ派遣事業経費	学校教育課	補足資料⑩
11	(拡) 高萩アウトドアフィールド事業経費	地方創生課	補足資料⑪
12	(新) ため池豪雨診断及びハザードマップ作成委託料	農林課	補足資料⑫

13	農業用施設整備事業	農林課	補足資料⑬
14	(新) 林道小山線改良事業	農林課	補足資料⑭
15	(新) 環境基本計画策定経費	環境衛生課	補足資料⑮
16	(新) 消防ポンプ自動車購入事業	警防課	補足資料⑯
17	消防施設整備事業	警防課	補足資料⑰
18	(新) 国土強靱化地域計画策定経費	危機対策課	補足資料⑱
19	防災行政無線（同報系）子局増設工事請負費	危機対策課	補足資料⑲
20	(新) 河川監視カメラシステム整備事業	危機対策課	補足資料⑳
21	(拡) バス路線運行維持費補助金	企画広報課	補足資料㉑
22	市道舗装改良事業外 2 事業 位置図	建設課	補足資料㉒
23	都市計画道路 3・4・1 号安良川下手綱線 補償調査委託料	都市整備課	補足資料㉓
24	公園遊具改修工事請負費	都市整備課	補足資料㉔
25	(拡) 地域コミュニティ活性化事業経費	地方創生課	補足資料㉕

障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画策定経費(新規)

R2予算額 4,676千円

社会福祉課社会福祉グループ(内線907)

計画期間が終了する障害福祉にかかる3つの計画を見直し、新たに策定する。

	計画の性格	根拠法令	計画期間
第3期障害者計画	障がいのある人の施策を推進するための基本理念を定め、施策の方向性を明らかにし、今後の障がいのある人のための施策の推進を図る指針となるもの	障害者基本法第11条第3項	令和3年度 ～令和8年度
第6期障害福祉計画	障害福祉サービス等の提供に関する具体的な体制づくりや、サービス等を確保するための方策等を示すもの	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律第88条	令和3年度 ～令和5年度
第2期障害児福祉計画	障害児福祉サービス等の提供に関する具体的な体制づくりや、サービス等を確保するための方策等を示すもの	児童福祉法第33条の20	令和3年度 ～令和5年度



総合福祉センター空調設備改修事業

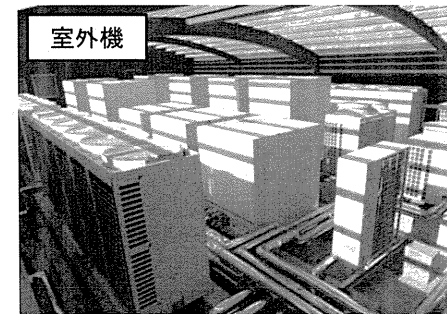
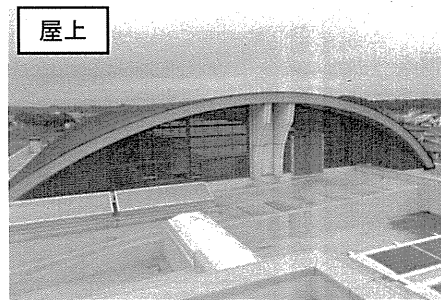
R2予算額 175,296千円

高齢福祉課生涯現役推進グループ(内線604)

老朽化した空調設備を改修し、快適な施設環境の確保を図る。(Ⅱ期工事)

【令和2年度(Ⅱ期工事)事業費の内容】
 総合福祉センター空調設備改修工事監理委託料 4,092千円
 総合福祉センター空調設備改修工事請負費 171,204千円

- 【財源】
- ① 総合福祉センター施設整備事業債 137,400千円
 - ・ 防災対策事業債 39,500千円
 充当率:75%(交付税措置率30%)
 - ・ 社会福祉施設整備事業債 97,900千円
 充当率:80%
 - ② 地域福祉基金 37,896千円



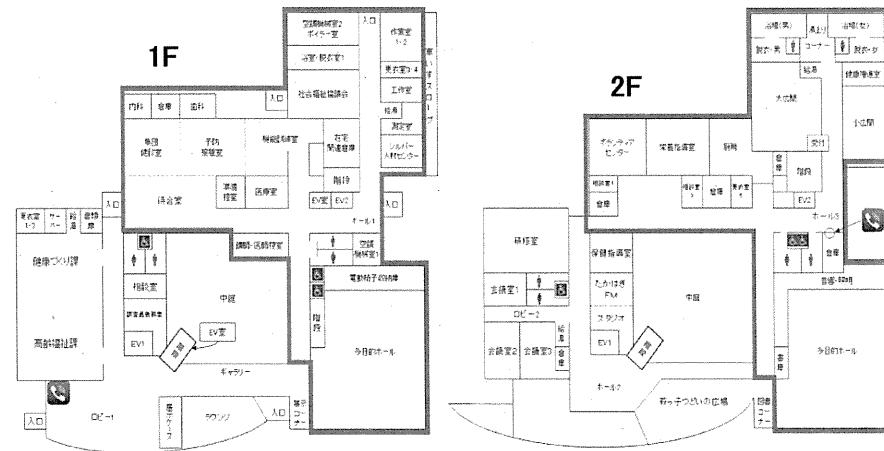
【Ⅱ期工事の概要】

【工事内容】

- ・ 室外機系統:17系統
- ・ 室内機:58台
- ・ 空調冷媒管更新

【工事箇所】

- ・ 1F: 多目的ホール、集団健診室、予防接種室、医師控室
 社会福祉協議会、シルバー人材センター、作業室 等
- ・ 2F: 浴場広間、厨房、栄養指導室、ボランティアセンター 等



【Ⅱ期工事区域】

総合福祉センター消防設備改修事業(新規)

R2予算額 4,925千円

高齢福祉課生涯現役推進グループ(内線604)

老朽化した自動火災報知設備(受信機)を更新し、施設の安全・安心の確保を図る。

【事業内容】

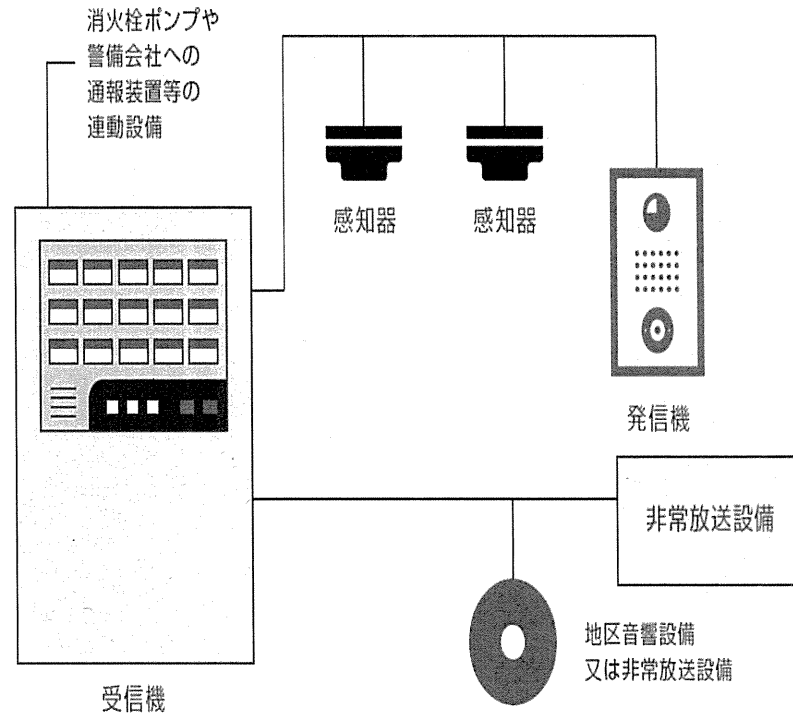
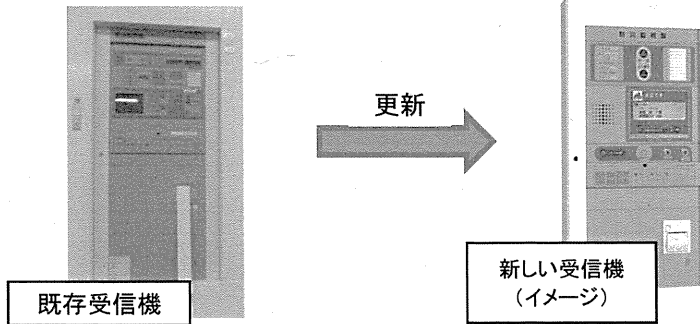
設置から19年が経過した、自動火災報知設備(受信機)の入替工事。

【財源】

- ①総合福祉センター施設整備事業債 3,900千円
充当率:80%
- ②地域福祉基金 1,025千円

【既存受信機の状況】

・製造年 2000年製(平成12年製)で、2023年(令和5年)3月には、部品供給が終了する。

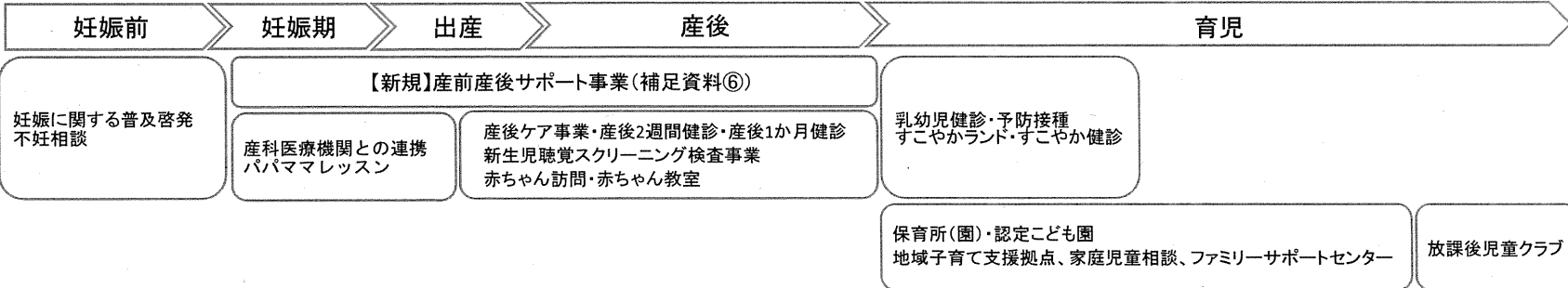
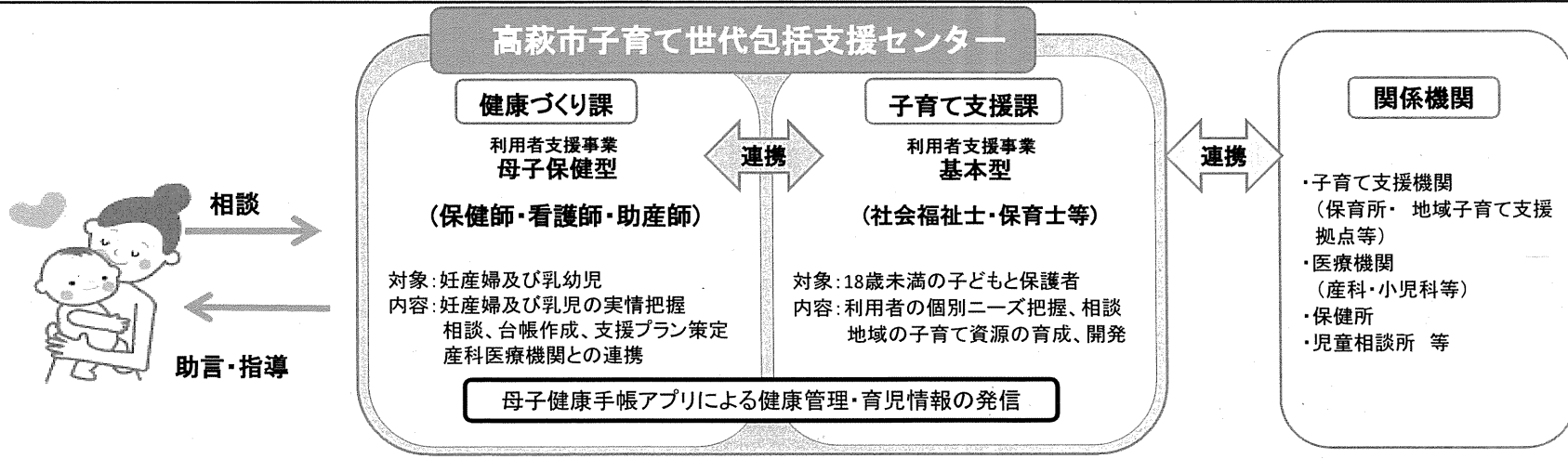


子育て世代包括支援センター事業経費(基本型・母子保健型)(新規)

R2予算額2,412千円(子育て支援課分)
2,226千円(健康づくり課分)

子育て支援課子育て支援グループ(内線152)
健康づくり課健康増進グループ(内線624)

○妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談・支援を行う「子育て世代包括支援センター事業」を実施する。
○子ども・子育て支援交付金の利用者支援事業(基本型・母子保健型)を活用して、子育て支援などを包括的に運営し、利用者の視点に立った妊娠・出産・子育てに関する手厚い支援を行う。 ※子ども・子育て支援交付金(国1/3、県1/3)



地域医療対策事業経費

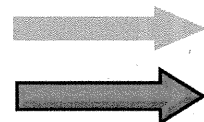
R2予算額 149,965千円

健康づくり課保健予防グループ(内線620)

救急告示病院である公的病院(県北医療センター高萩協同病院)に対する公的病院等運営費補助等を引き続き実施する。
また、医局体制の変更等により、麻酔科医の確保等に多大な費用を要している状況にあることから、市内における産科及び二次救急医療体制を維持し、市民生活の安全・安心の確保及び子育て支援体制の充実を図るため、「公的病院産科・救急医療体制支援補助金」として支援する。

【令和元年度】		単位:千円
公的病院等運営費補助金※	49,870	
医師確保支援補助金	4,908	
公的病院麻酔科医緊急確保支援補助金	15,000	
計	69,778	

【継 続】
【拡 充】



【令和2年度】		単位:千円
公的病院等運営費補助金	49,870	
医師確保支援補助金	5,095	
公的病院産科・救急医療体制支援補助金	95,000	
計	149,965	

※特別交付税算入有 (H30年度算入額40,351千円、R01年度算入見込額40,076千円)

【公的病院産科・救急医療体制支援補助金の制度概要】

【補助対象経費】

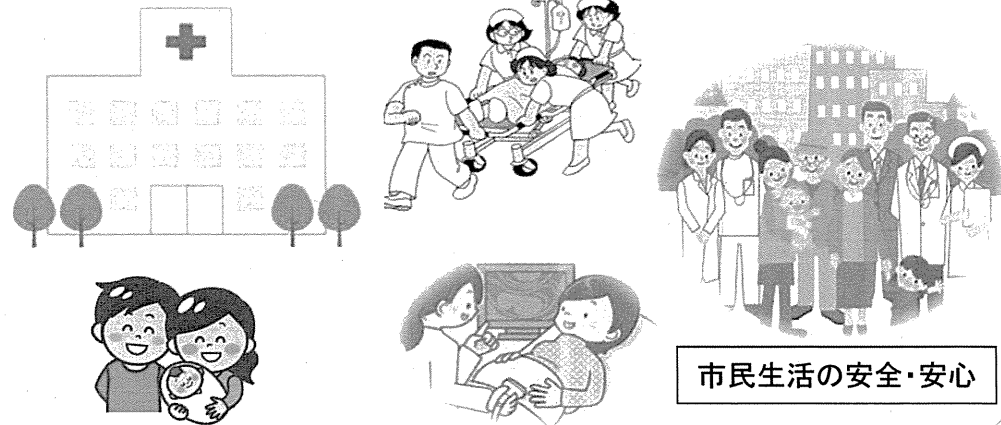
産科部門及び救急診療部門における損失のうち、市が1/2を補助

【限度額】

95,000千円

【補助対象年度】

令和2・3年度



産前・産後サポート事業経費(新規)

R2予算額 396千円

健康づくり課健康増進グループ(内線624)

妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、助産師等の専門家による相談支援を行い、家庭や地域での妊産婦の孤立感の解消を図る。

対象者	妊産婦および乳幼児
内 容	(1) 利用者の悩みの相談対応やサポート (2) 産前・産後の心身の不調に関する相談支援
実施方法	子育て世代包括支援センター内の事業として、月に2回のサロン(赤ちゃんとのふれあい遊び等と助産師の相談)と月1回の個別相談日(予約制)を設ける。
実施担当者	助産師(報償費) 子育て世代包括支援センター職員(保健師等)



※母子保健衛生費補助金 国1/2補助

個別予防接種委託料

R2予算額 62,748千円

健康づくり課保健予防グループ(内線620)

令和2年10月(令和2年8月生まれ以降)からロタウイルスワクチンが定期接種化されることを受け、令和2年4月2日から7月31日まで生まれの任意接種についても、全額公費負担する。併せて、1歳から小学校就学前までを対象に、おたふくかぜワクチンを任意接種として、接種費用の一部(上限3,000円)を負担する。

【令和元年度】		単位:千円
定期	定期接種委託料 (四種混合外9種類)	44,410
任意	任意接種委託料 (小児インフルエンザ)	14,574
計		58,984



【令和2年度】		単位:千円
定期	定期接種委託料 (四種混合外9種類)	41,985
	【新規】ロタウイルスワクチン	4,431
任意	任意接種委託料 (小児インフルエンザ)	14,532
	【新規】おたふくかぜワクチン	1,800
計		62,748

ロタウイルスワクチン (生ワクチン)

令和2年10月 (令和2年8月生) から定期接種化

【対象者】

～令和2年 9月：令和2年4月2日生～令和2年7月31日生【任意】

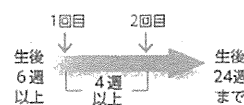
令和2年10月～：生後6週以上生後32週まで【定期】

【ロタウイルスワクチン接種スケジュール等】

1価ワクチン

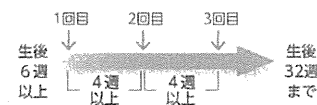
5価ワクチン

【1回目は生後14週6日までが望ましい】



いずれも1回に1.5mLを経口接種

【1回目は生後14週6日までが望ましい】



いずれも1回に2.0mLを経口接種

おたふくかぜワクチン (生ワクチン)

令和2年4月から任意接種費用の一部 (3,000円) を助成

【対象者】

1歳から小学校就学前まで (1回)

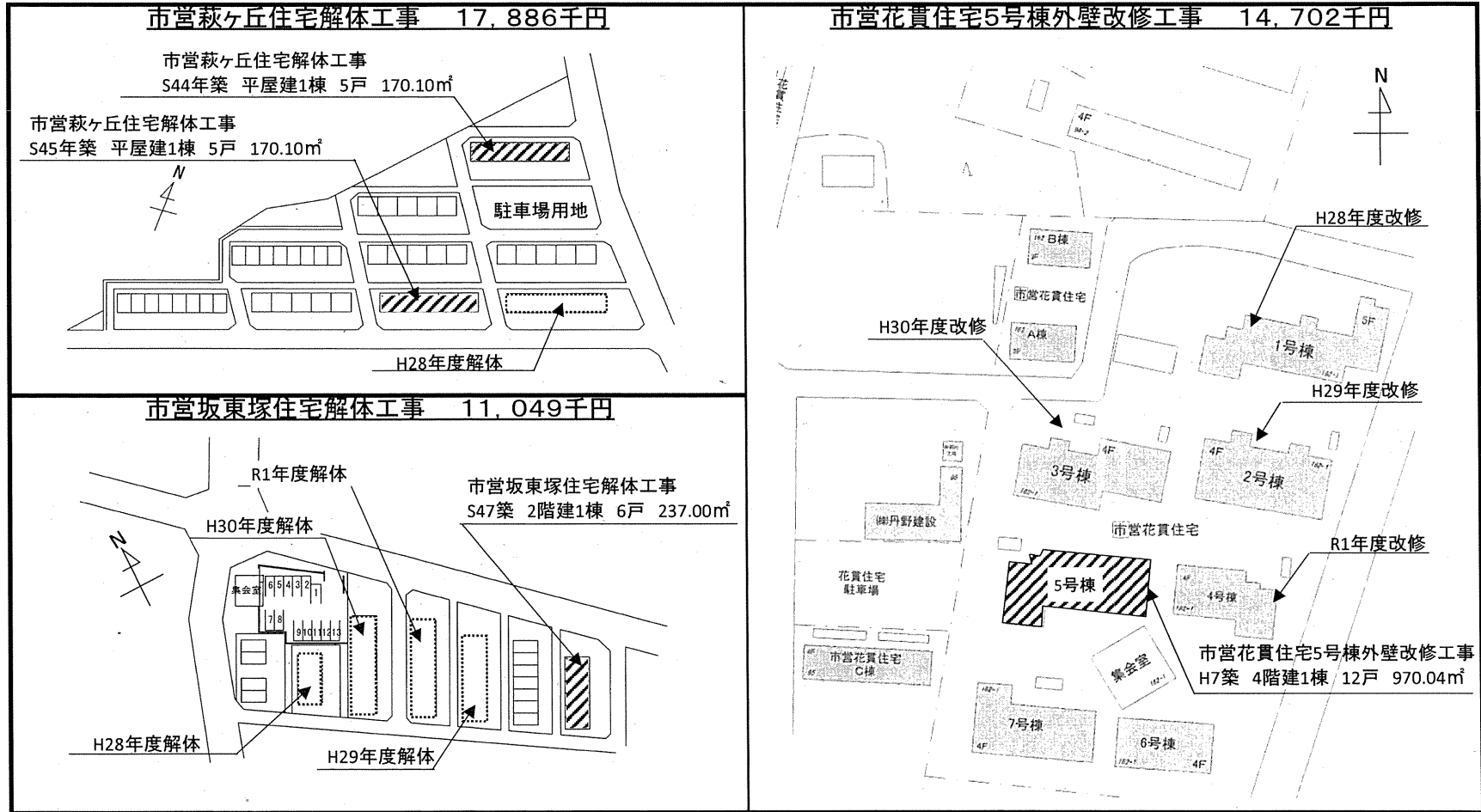
※1回に1.5mLを皮下接種



市営住宅整備事業 位置図

R2予算額 45,223千円

建設課施設管理グループ(内線226)



学校運営協議会経費(拡充)

R2予算額 660千円

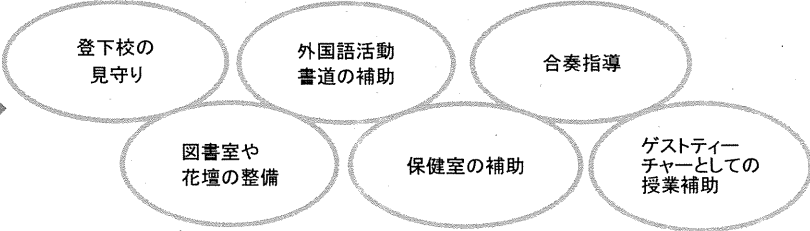
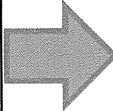
学校教育課教育指導グループ(内線273)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、すべての学校において2022年度までに「学校運営協議会」を設置することが努力義務となった。これを受け、本市では平成30年度から秋山小中学校でモデルケースとして学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を立ち上げて実践を行ってきた。令和2年度より全校で導入するため、委員の報償費を増額する。

○導入の意義

学校がチームとして教育力・組織力を発揮するとともに、学校と地域が適切に役割分担をしながら、それぞれが主体的に取り組みを進める。

子どもたちの健やかな成長と質の高い学校教育の実現が可能



○導入状況(令和元年5月1日現在)

- ・全国の公立学校におけるコミュニティ・スクールの数 7,601校(導入率21.3%)前年度から2,169校増加(導入率6.6ポイント増)
 - ・茨城県の導入率 10.9%(全国平均23.7%)
 - ・高萩市では県内でも牛久市、那珂市に次いで3番目に導入開始。県北地区では最も早く導入した。
- (日立市は令和元年度全ての小学校に導入。北茨城市は令和2年度モデル校への導入を目指している。常陸太田市は導入時期未定。)

○秋山コミュニティ・スクールの成果



(教員)
地域の方との交流が増え、新たな視点で学校を見ることができるようになった。子どもたちが本物に触れる機会が増えた。



(学校運営協議会委員)
学校に入ることによって多くの人との出会いがあり、自分から何かを発信してみたいという気持ちになった。とてもやりがいを感じている。



(保護者)
子どもたちはたくさんの人と関わることで、いろいろな考えに触れたり、新しいことに気付いたりでき、コミュニケーション力が高まる。



(中学生)
授業とは違う活動を通して自分に自信がつき、やり遂げることの達成感を感じた。

ヤング・アメリカンズ派遣事業経費(新規)

R2予算額 210千円

学校教育課教育指導グループ(内線272)

グローバル化の進展や小学校における外国語科(英語)の実施に伴い、ヤング・アメリカンズに小学生を派遣することで、英語に対する興味関心、基礎的な英語力、コミュニケーション能力の向上をめざす。

○事業実施に至った理由

- ・グローバル化の進展
- ・小学校における外国語科(英語)の完全実施
- ・外国語(英語)教育のさらなる推進

※これまでの取組

幼稚園・小中学校へのALTの配置、増員
中学生を対象としたイングリッシュ・キャンプの実施
小学生英語検定、中学生資格検定補助事業の実施



○派遣人数・派遣場所

小学校5・6年生 10人
福島県いわき市

○派遣期間

3日間(10月の金・土・日を想定)

○主な活動内容

- ・ワークショップ(英語による歌やダンス 10時間)
- ・パフォーマンス(成果発表 3時間)



【期待される効果】

- ・英語に対する興味関心の向上
- ・基礎的な英語力の向上
- ・コミュニケーション能力の向上
- ・友情の深化 等

高萩アウトドアフィールド事業経費(拡充)

R2予算額 22,611千円

地方創生課地方創生グループ(内線332)

高萩アウトドアフィールド「はぎビレッジ」をフィールドにダムや河川等の自然資源を活用したアウトドアアクティビティの体験事業を実施することにより、交流人口を増やし、市内外から認知される高萩アウトドアフィールドを構築する。

● **高萩アウトドアフィールド事業**

ダム湖面や河川を活用し、カヌーやシャワーウォーク等の自然体験事業を実施する。

[新規] 気球体験

- ・ 事業費 5,347千円

● **高萩グランピング事業**

小山ダム周辺で、自然の中で宿泊するグランピング事業を実施する。

[拡充] グランピングテント1棟、ドッグラン整備

- ・ 事業費 8,980千円

● **地域資源利活用事業**

小山ダム周辺に群生する蛍を保全の上、地域資源として市内外へPRし、交流人口を確保する。

(高萩市観光協会等と連携して実施予定)

- ・ 事業費 1,000千円

※本事業については、茨城県県北地域活力創造プロジェクト事業補助金(県補助(補助率1/2))及び辺地対策事業債を活用予定。

● **PR用看板等設置**

「はぎビレッジ」の宣伝及び案内のための看板等を設置する。

- ・ 事業費 3,984千円

● **「はぎビレッジ」の整備**

「はぎビレッジ」の利便性向上のため、浄化槽や洗い場を設置する。

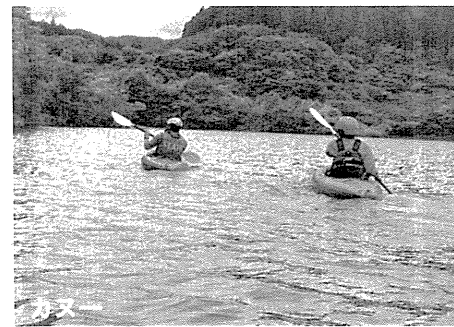
- ・ 事業費 3,300千円



グランピング(1棟拡充)



熱気球(新規)



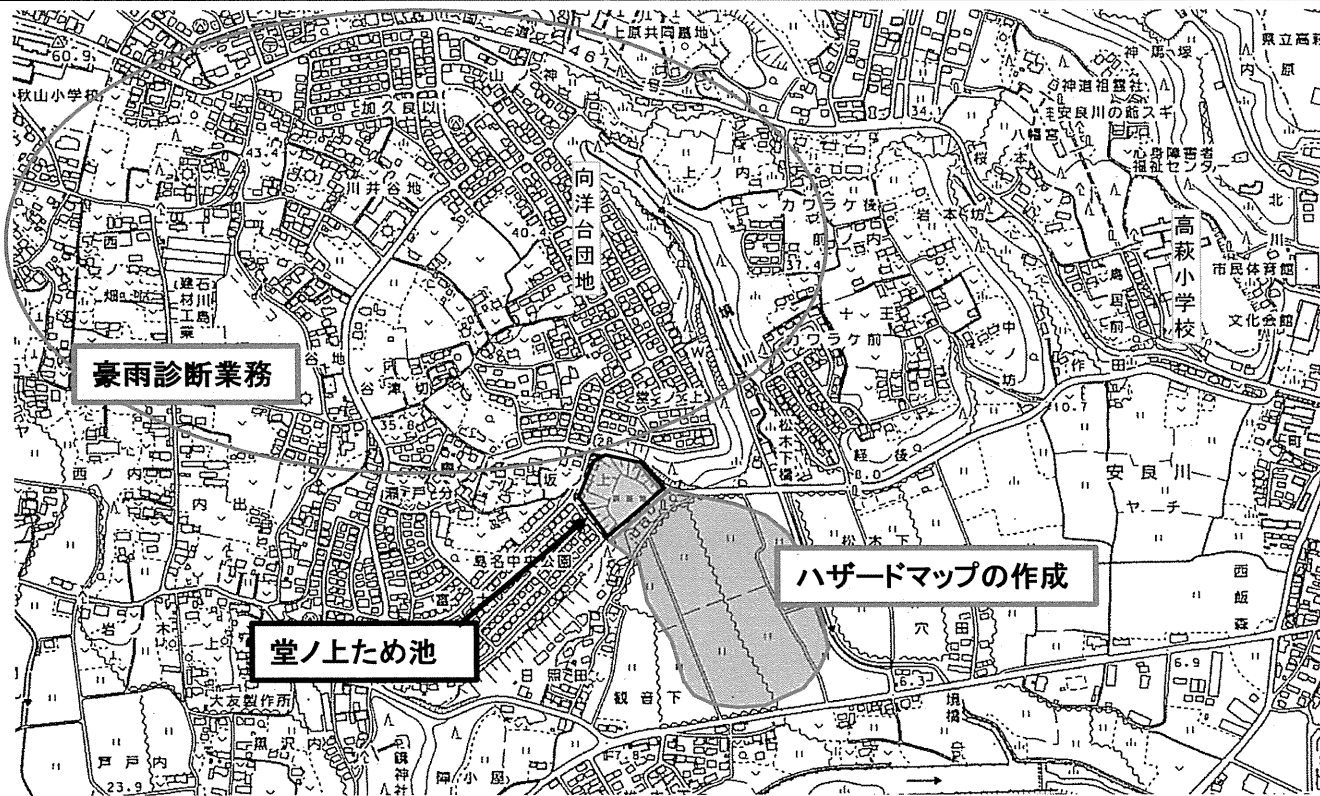
カヌー

ため池豪雨診断及びハザードマップ作成委託料(新規)

R2予算額 7,220千円

農林課 農地林道整備グループ (内線215)

緊急時の迅速な避難行動につなげる対策、施設機能の適切な維持、補強に向けた対策の着実な実施を図る。



豪雨診断業務
ハザードマップの作成



農業用施設整備事業

R2予算額 18,430千円

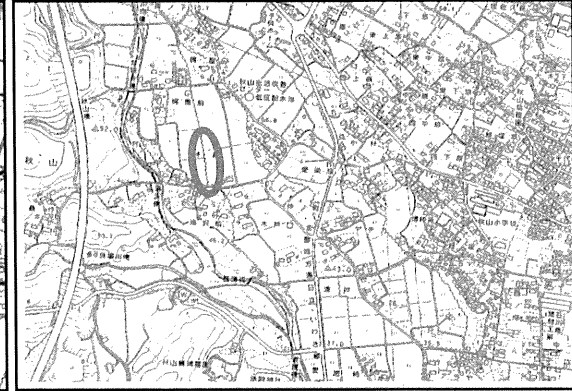
農林課 農地林道整備グループ (内線215)

農業用 用・排水路の機能回復と維持管理の軽減、農業基盤の基礎として改修整備を図る。

①【後谷地区】

②【河原地区】

③【林崎地区】



(水路改修)

(水路改修)

(水路改修)



工事内容
底板コンクリート打設
延長 L=150m

水路の吸出しに伴い法面陥没等、維持管理に苦慮。



工事内容
U型カルバート据付
延長 L=60m

水路の劣化に伴い隣接市道の陥没等、維持管理に苦慮。



工事内容
底板コンクリート打設
延長 L=130m

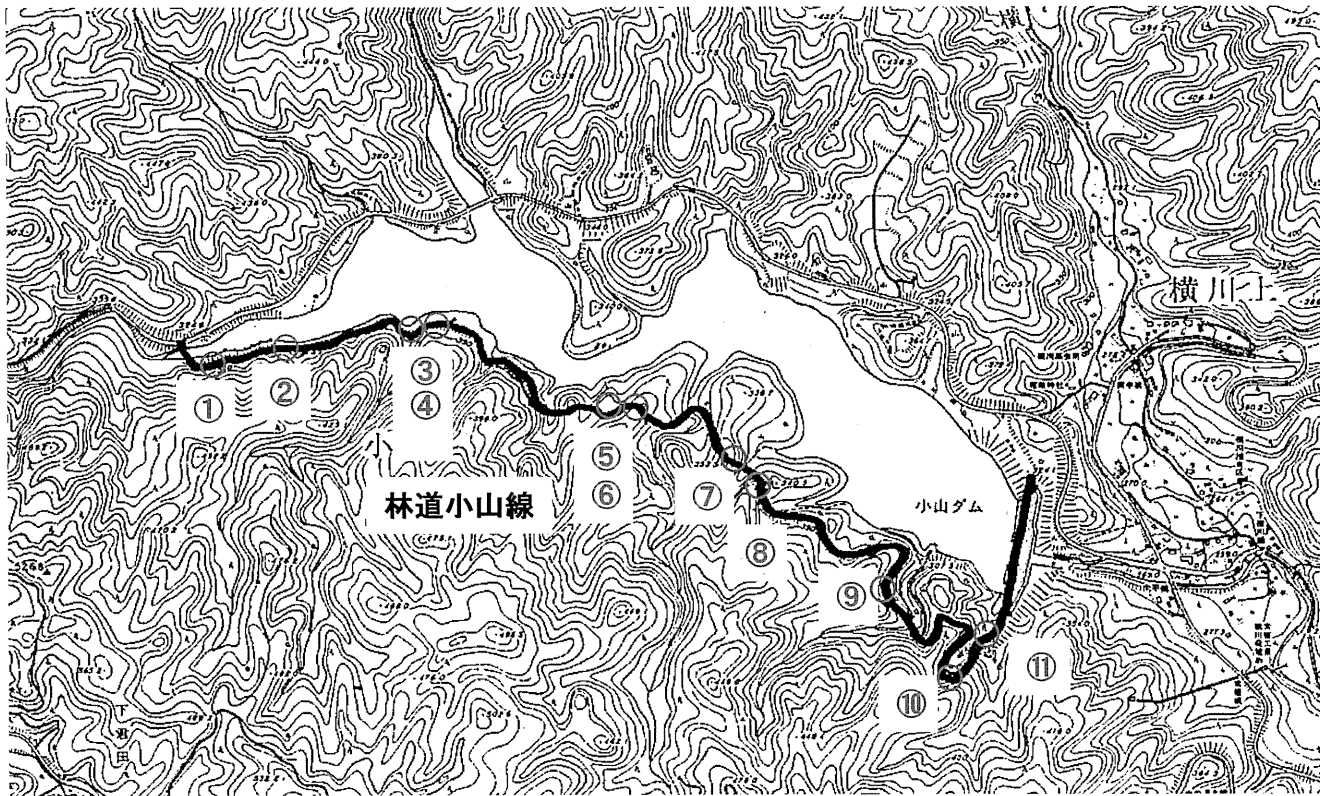
水路の吸出しに伴い法面陥没等、維持管理に苦慮。

林道小山線改良事業(新規)

R2予算額 14,000千円

農林課 農地林道整備グループ (内線215)

輸送力の向上及び安全確保を図ると共に、自然環境の保全など社会要請に対応するため局部的構造の改良を図る。



令和2年度	①～⑪ L=40m	調査測量設計業務委託
令和3年度	① L=50m	落石防護柵工等
令和4年度	③④ L=40m	重力式擁壁工等
	⑤ L=60m	積ブロック工等
令和5年度	② L=40m	法面保護工等
	⑥ L=60m	排水施設工等
	⑦ L=40m	法面保護工等
	⑧ L=30m	法面保護工等
	⑨ L=20m	排水施設工等
	⑩ L=20m	積ブロック工等
	⑪ L=40m	法面保護工等

環境基本計画策定経費(新規)

R2予算額 4,634千円

環境衛生課環境衛生グループ(内線910)

高萩市環境基本計画(平成23年8月策定)の計画期間が令和2年度で終了することから、次期計画の策定を行う。

【計画策定の趣旨】

○現行の環境基本計画の計画期間が終了することから、次期計画の策定を行う。

※高萩市環境基本計画(現行)

策定年月 平成23年8月

計画期間 平成23年度から令和2年度までの10年間

【計画の対象範囲と分野構成】

○対象範囲 高萩市環境基本条例に係る環境全般

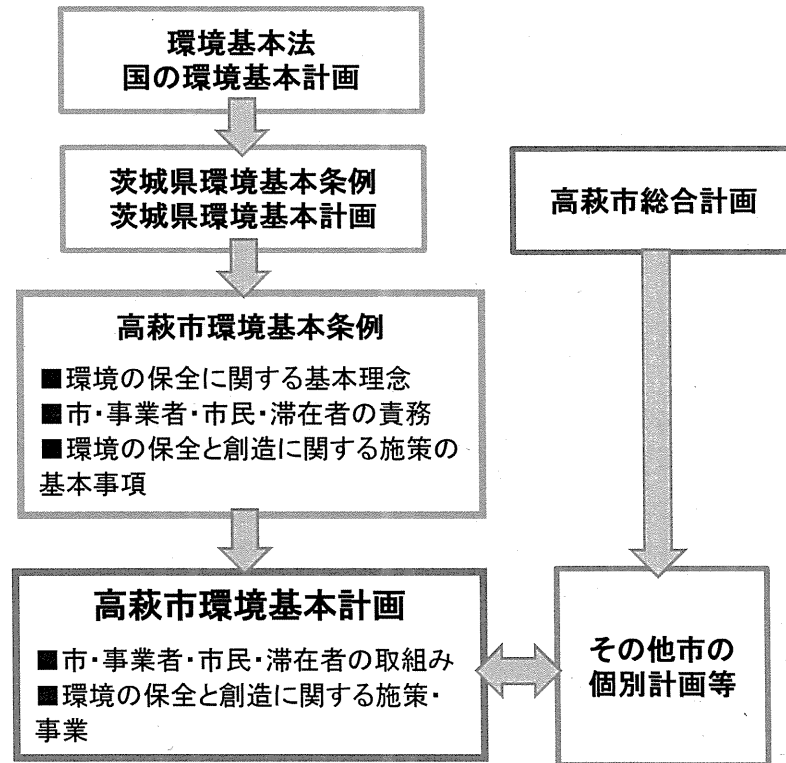
○分野構成

自然環境	動物、植物、水辺、森林、農地、緑化、歴史・文化
生活環境	水、大気、悪臭、騒音、振動、土壌、地盤沈下
地球環境	地球温暖化等、省資源、省エネルギー
循環型社会	廃棄物、リサイクル
環境保全活動	環境学習・教育、環境情報、地域・各種団体との連携・協力

【計画の期間】

○令和3年度から令和12年度までの10年間

【計画の位置づけ】



消防ポンプ自動車購入事業(新規)

R2予算額 63,834千円

警防課警防グループ(内線230)

消防ポンプ自動車を更新し、市民の安全・安心につなげる。(緊急消防援助隊登録車両)

CAFS (圧縮空気泡消火装置) 搭載 水槽付消防ポンプ自動車

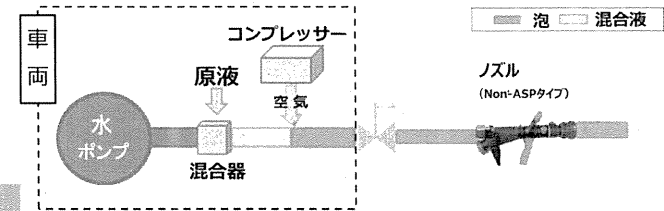


※写真はイメージ

～ CAFS の主な特徴 ～

●活動隊員の負担軽減

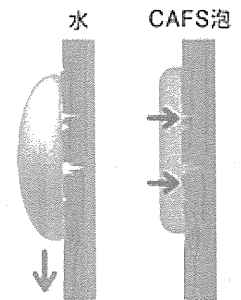
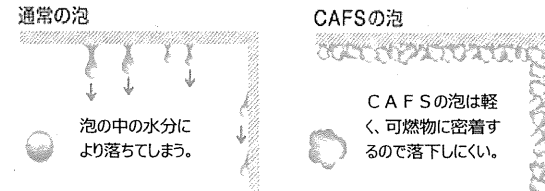
- ・ホース中を「泡」が流れるため、ホースが非常に軽く、放水反動力も小さいため、隊員への負担が大幅に軽減する。



●節水・水損防止

- ・水利状況が悪い場所でも高い消火効率を得られる。
- ・水の使用量が少ないため、階下への水損を防ぐ。

●高い冷却効果・再燃防止・延焼防止



- ・CAFS泡による、窒息効果・効果的な冷却効果で消火し、消泡後に浸透し、再燃防止効果が得られる。周囲の家屋等に対して泡を噴射することによって、輻射熱を遮り延焼防止に繋がる。

※緊急消防援助隊とは

大規模災害等において、被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による救助体制を構築するため、平成7年6月に創設された組織。

- 出動実績・・・H16新潟県中越地震

消防施設整備事業

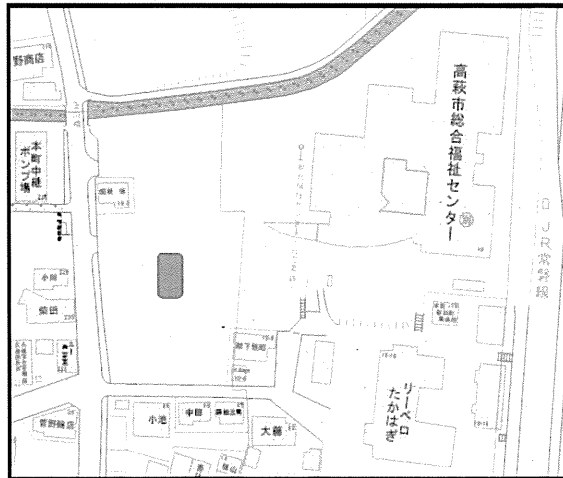
R2予算額 57,550千円

警防課警防グループ(内線230)

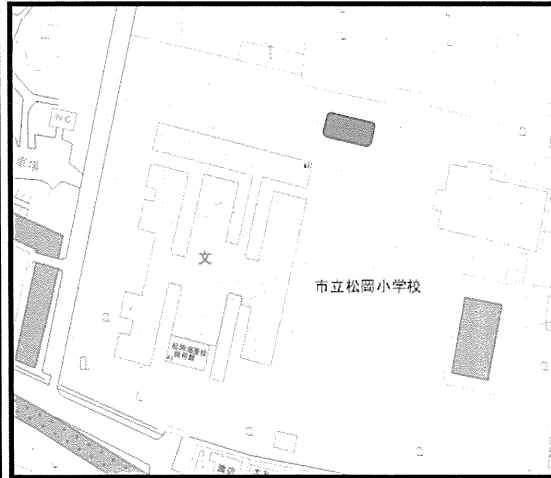
耐震性防火貯水槽(40㎡・3基)を効果的に配置し、災害時に安定した水利を確保できるようにして、确实・迅速な対応を図る。

耐震性防火貯水槽設置予定地

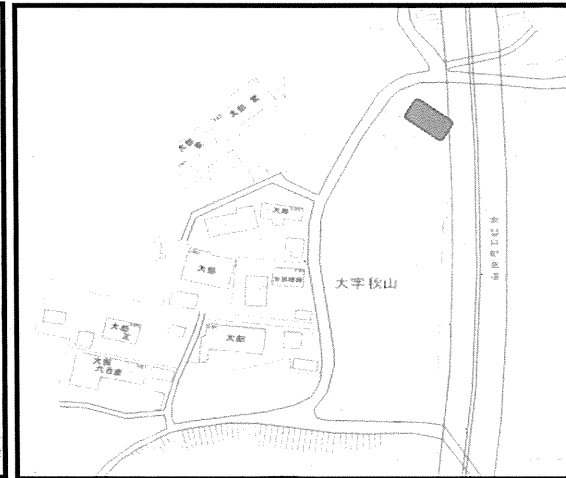
総合福祉センター敷地内



松岡小学校敷地内



秋山・桑作地区内



※耐震性防火貯水槽設置実績

H16-1基	秋山	H18-2基	高浜町	H20-1基	赤浜	H24-6基	下手綱	安良川	H28-2基	本町	H30-2基	大和町
			石滝				高戸	島名		高戸		肥前町
							本町	東本町				

国土強靱化地域計画策定経費(新規)

R2予算額 5,720千円

危機対策課危機対策・放射線グループ(内線362)

大規模自然災害から市民の生命と財産を守り、地域への致命的な被害を回避、速やかな復旧復興に資する施策を計画的に推進するため、「高萩市国土強靱化地域計画」を策定する。

国土強靱化とは

○大規模自然災害時に、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済システムを平時から構築

国土強靱化地域計画に基づく取組みを進めるの3つのメリット

1 被害の縮小、強靱な地域づくり

○どのような災害が起こっても、被害の大きさそれ自体を小さくでき、迅速に復興

2 施策(事業)のスムーズな進捗

○施策(事業)の優先順位を対外的に明らかにすることで、国土強靱化に係る新規・既存の各種施策(事業)がより効果的にスムーズに進捗 ← 《関係府省庁所管の交付金・補助金による支援も》

○部局横断的な取り組みや進捗管理による庁内意識の共有、推進力の出現

3 地域の持続的な成長、地方創生

○災害への対応力向上による地域への安心・安全感の向上により、地域の持続的な成長へ

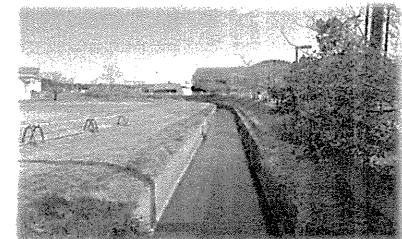
ソフトとハードの組合せ

- 「ソフト」と「ハード」を適切に組み合わせ効果的に取り組む
 - ・ソフト事業 … ハザードマップの活用、避難訓練の実施 等
 - ・ハード事業 … 河川や避難路等の整備 等

【花貫川氾濫に備えた訓練】



【玉川】

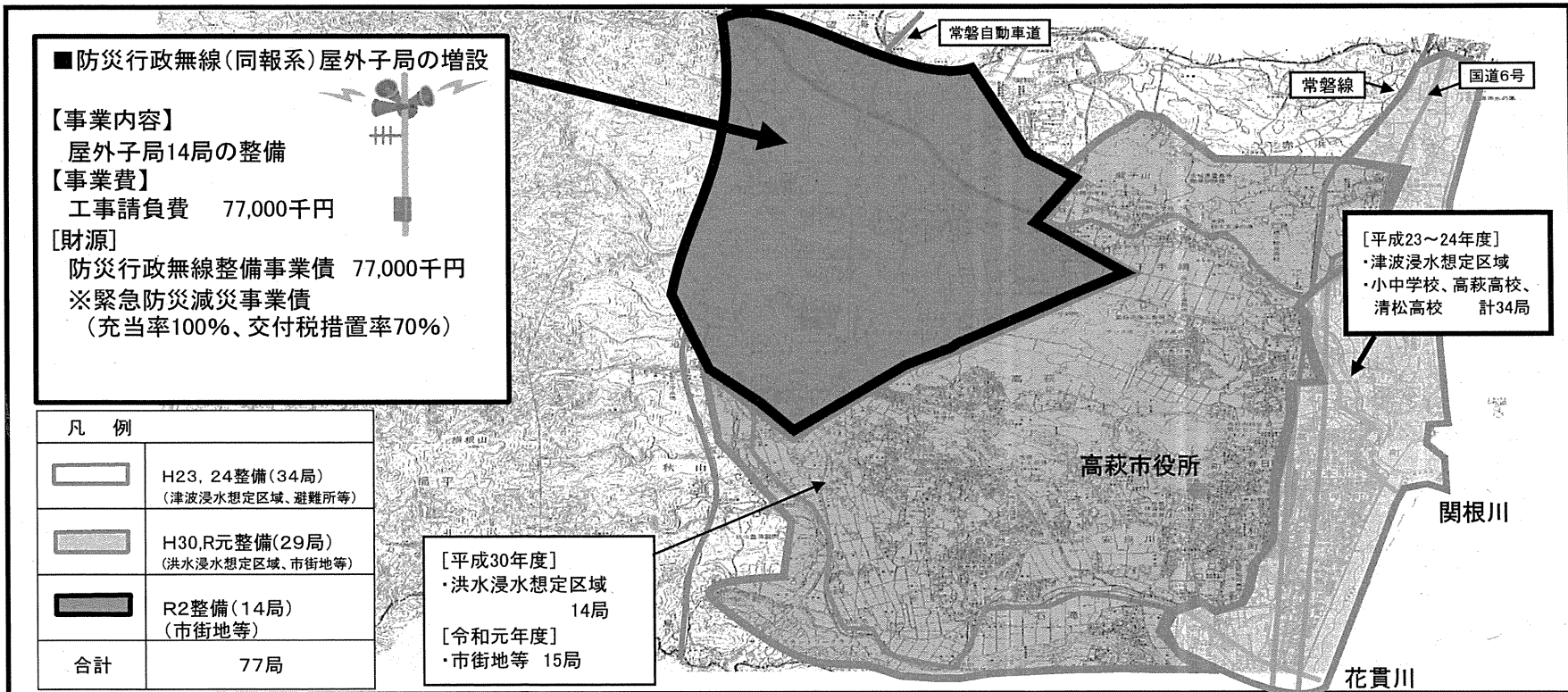


防災行政無線(同報系)子局増設工事請負費

R2予算額 77,000千円

危機対策課危機対策・放射線グループ(内線363)

市内の居住地域及び通学路へ、国民保護情報、緊急地震速報並びに、行政情報や特殊詐欺などの防犯情報等を伝達する手段を充実させるため、防災行政無線屋外子局を14箇所追加整備する。

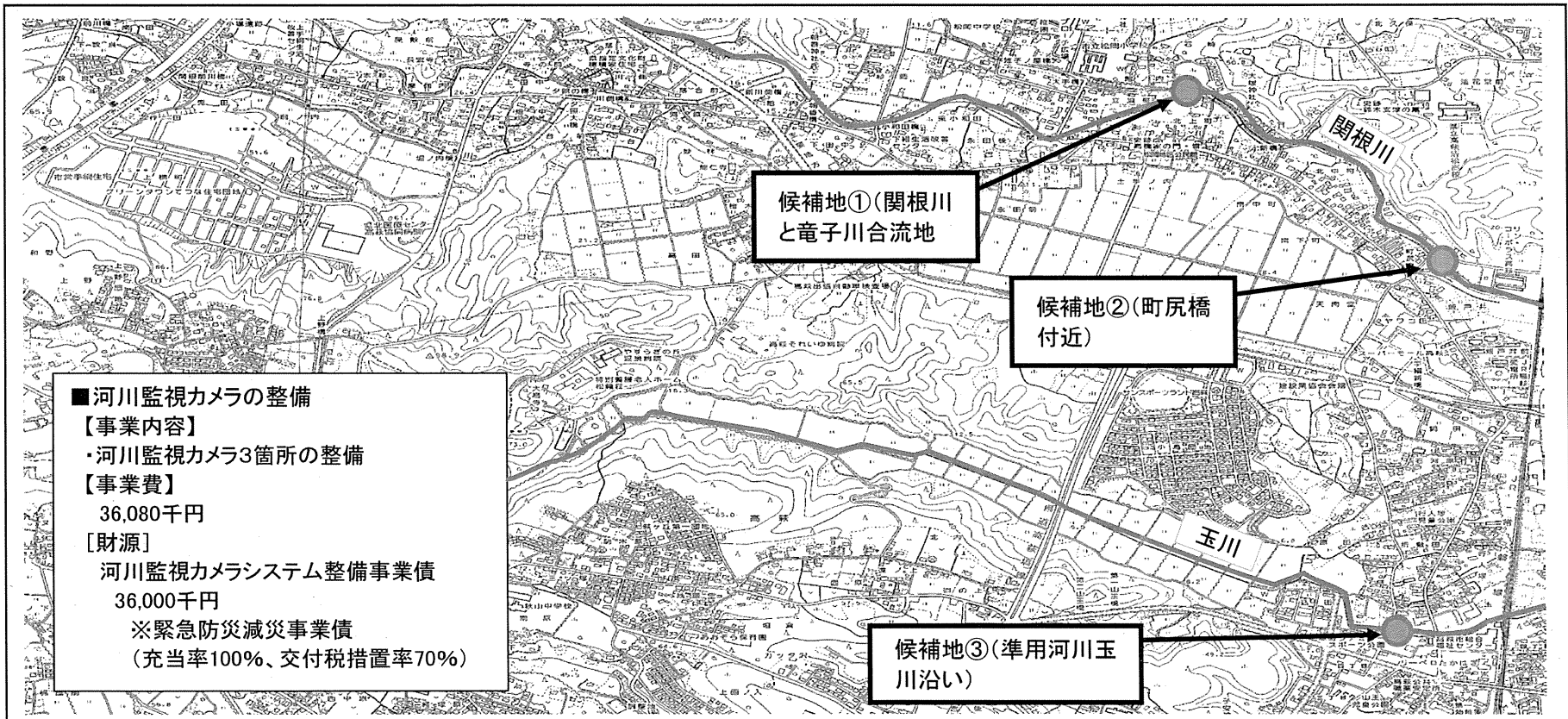


河川監視カメラシステム整備事業(新規)

R2予算額 36,080千円

危機対策課危機対策・放射線グループ(内線363)

急な大雨時にも迅速に河川状況を把握し、早期の避難情報発令に繋げるため、冠水の頻度が高い関根川及び玉川に河川監視カメラを整備する。



バス路線運行維持費補助金(拡充)





R2予算額 29,000千円

企画広報課 企画グループ(内線322)




市民の移動手段を確保するため、市内で生活路線バスを運行する交通事業者2社に対し、運行に要する経費を支援する。


■運行支援対象：2社、8路線

茨城交通(株)

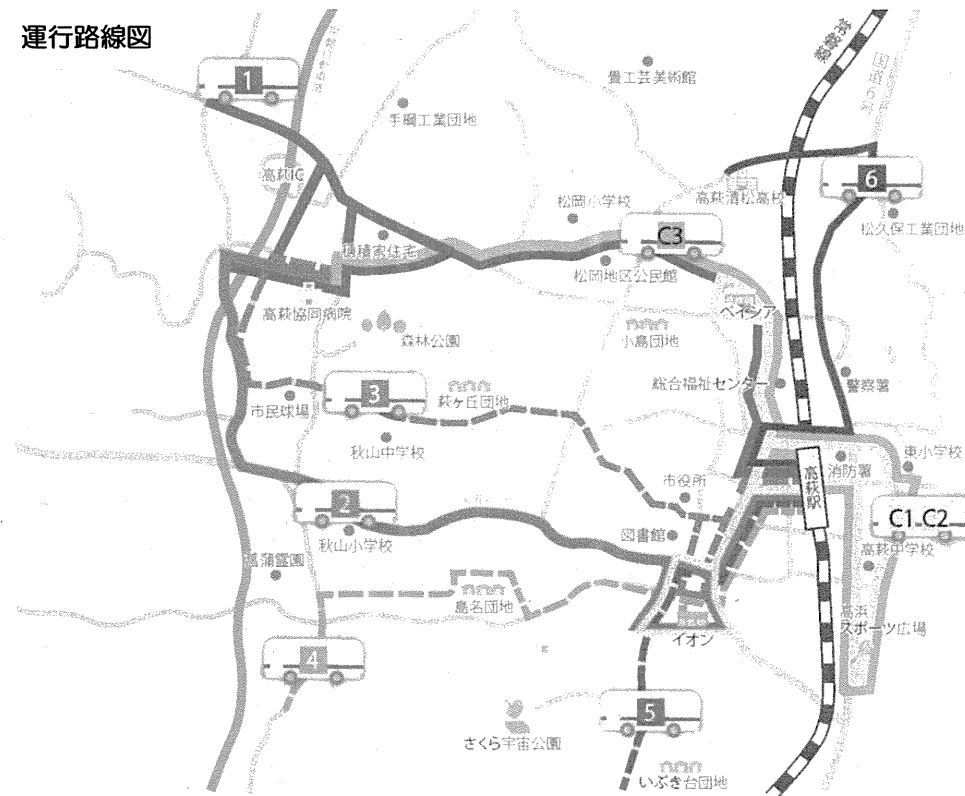
-  千代田・関口線
-  和野線
-  市街地循環線3路線
(イオン線、ベイシア線、高萩協同病院線)
- 

推名観光バス(株)

-  上和野線
-  ソーラーリゾート線
-  いぶき台団地線

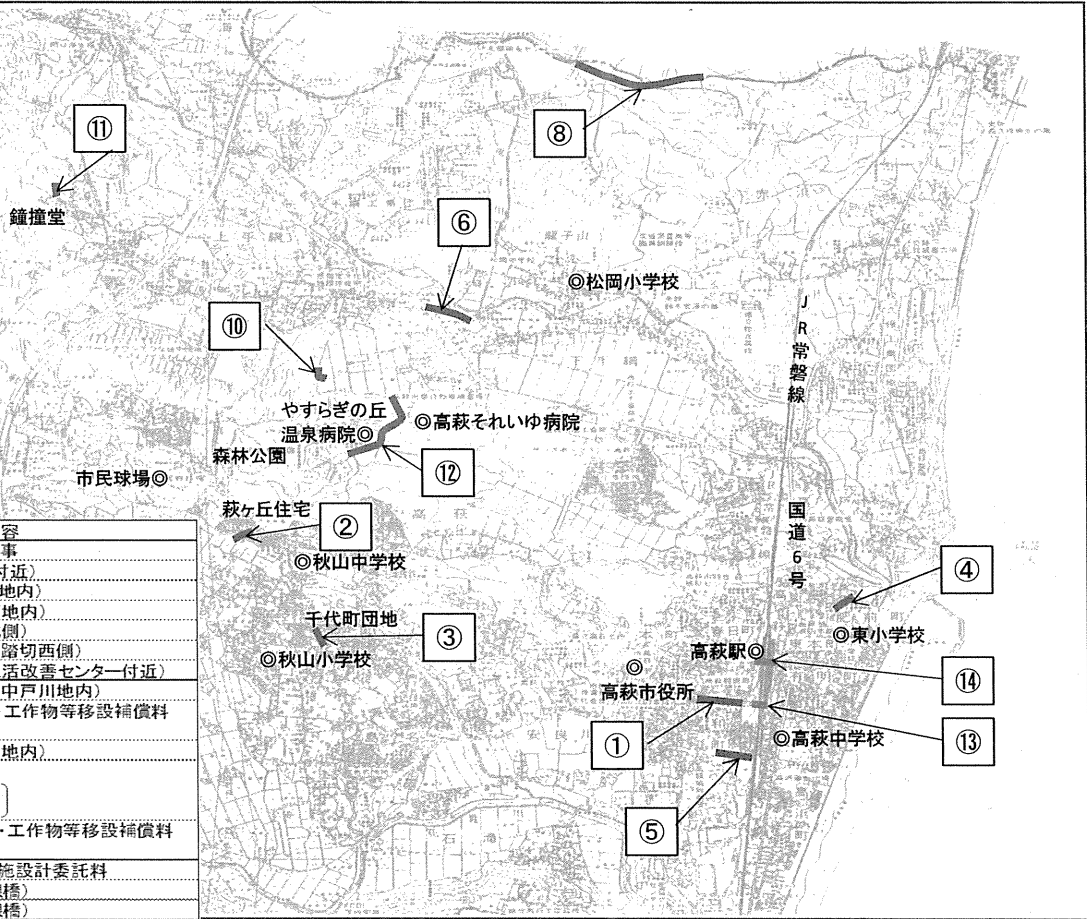
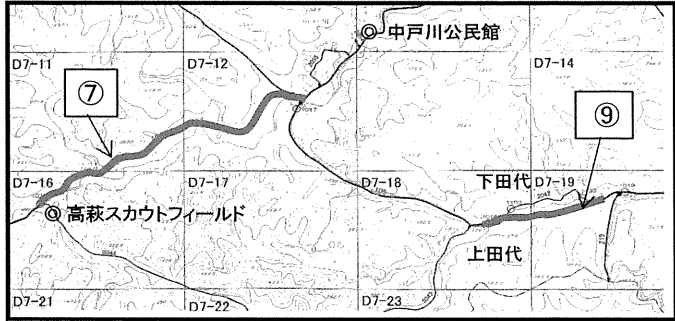
 清松高校線は支援対象外

運行路線図



市道舗装改良事業外2事業 位置図

建設施設整備グループ(内線222)



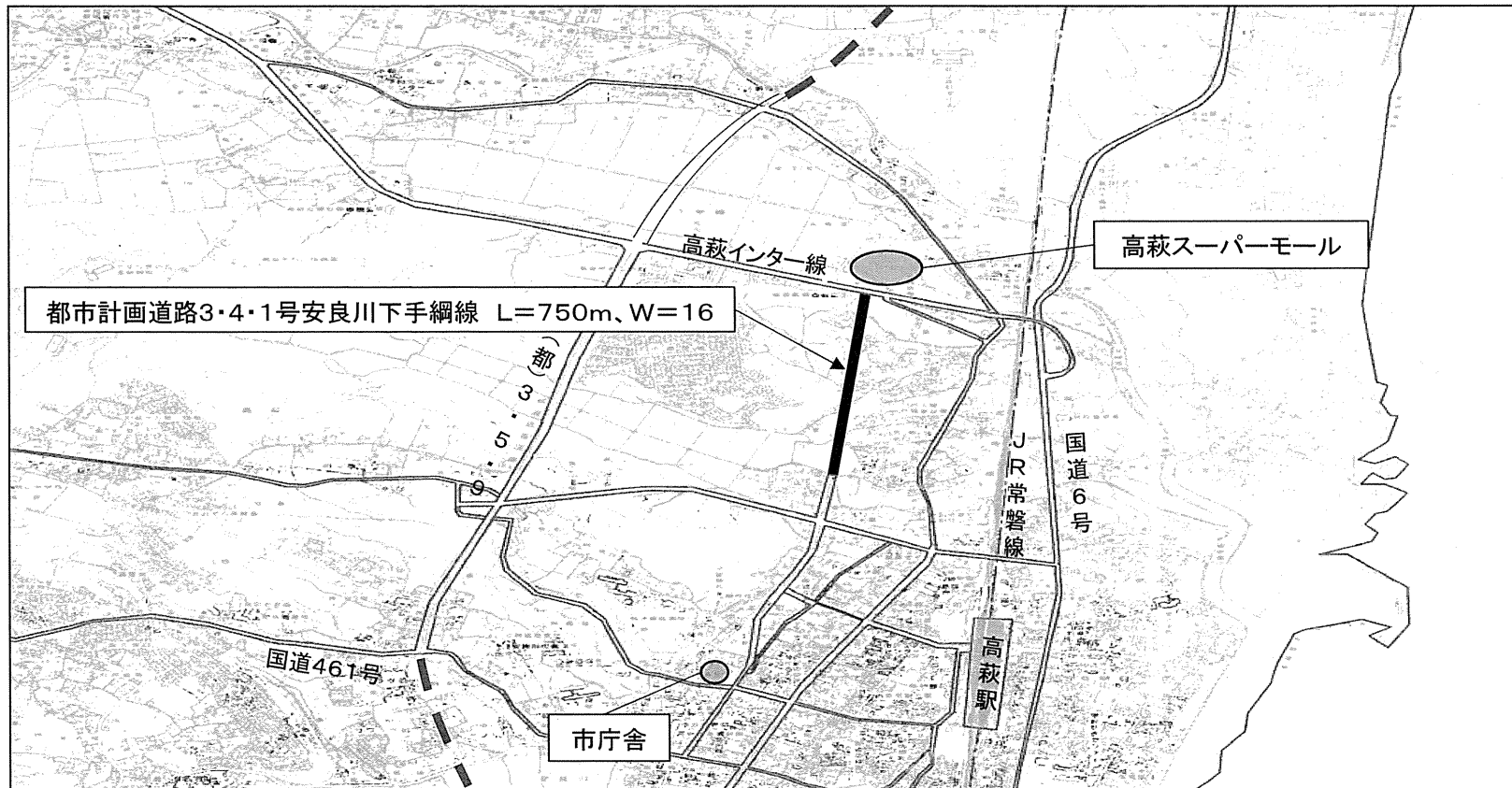
事業名	R2年予算	内 容
7.2.2.50 市道維持補修事業	53,500千円	生活道路測量業務委託料・生活道路舗装工事
		①市道206号線(大和町地内:小豆畑薬局付近)
		②市道1211号線(大字高萩地内:萩ヶ丘団地内)
		③市道1270号線(大字島名地内:千代町団地内)
		④市道1316号線(肥前町地内:東小学校北側)
		⑤市道1401号線(大字安良川地内:浜野町踏切西側)
7.2.3.04 市道舗装改良事業	264,000千円	⑥市道1661号線(大字上手郷地内:下組生活改善センター付近)
		⑦市道104号線道路測量設計委託料(大字中戸川地内)
		⑧市道212号線道路改良工事・用地取得費・工作物等移設補償料(大字赤浜地内)
		⑨市道105号線道路舗装工事(大字中戸川地内)
		市道1096号線外道路舗装工事 { ⑩市道1096号線外(大字上手郷地内) ⑪市道3067号線(大字上手郷地内) }
7.2.4.51 橋梁長寿命化事業	15,000千円	市道1418号線(磯道跨線橋)外改修工事実施設計委託料
		⑬市道1418号線(大字高萩地内:磯道跨線橋)
		⑭市道1650号線(大字高萩地内:中央跨線橋)

都市計画道路3・4・1号安良川下手網線補償調査委託料

R2予算額 26,444千円

都市整備課都市計画グループ(内線232)

都市計画道路3・4・1号安良川下手網線の事業進捗を図るため、建物等の補償調査業務を実施する。

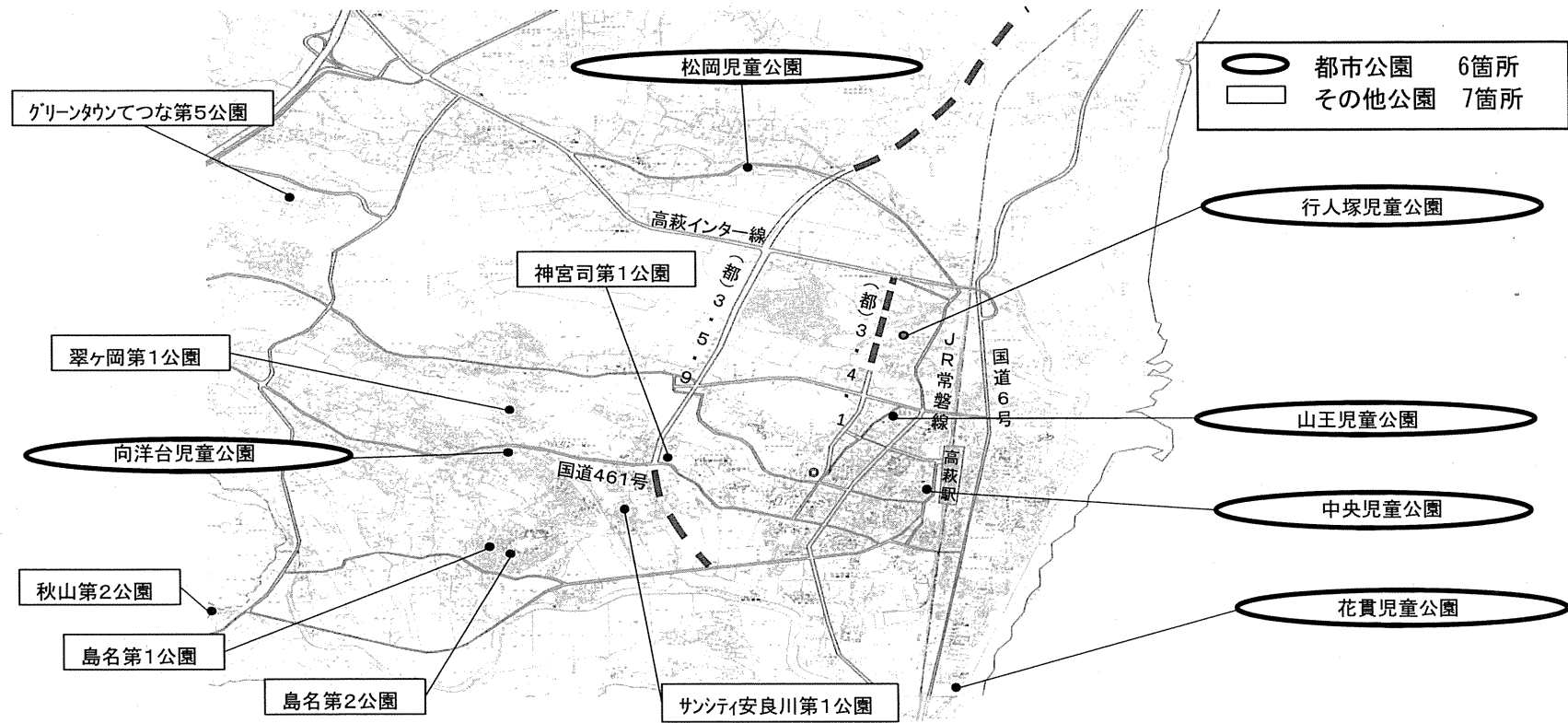


公園遊具改修工事請負費

R2予算額 27,676千円

都市整備課都市計画グループ(内線232)

老朽化の著しい公園内遊具のうち、都市公園施設長寿命化計画、及び公園遊具定期点検結果に基づき、都市公園6箇所、その他公園7箇所の遊具を更新する。



地域コミュニティ活性化事業経費(拡充)

R2予算額 3,896千円

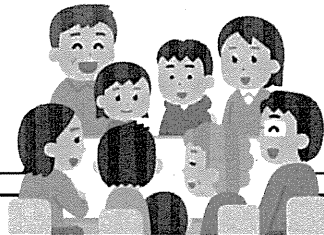
地方創生課地方創生グループ(内線332)

高萩市地域コミュニティモデル地区内の調整役を担う兼任の集落支援員を設置するとともに、より広範囲なエリアのコミュニティ活動を推進するため、その牽引役となる専任の集落支援員を設置する。

● 高萩市地域コミュニティモデル地区

コミュニティ活動を活発に取り組んでいる地区をモデル地区として選定し、活動を支援する。現在の大能地区、秋山下地区、赤浜地区につづく4つ目のモデル地区を新たに選定する。

[拡充] 第4のモデル地区
・ 事業費 400千円(100千円/地区)



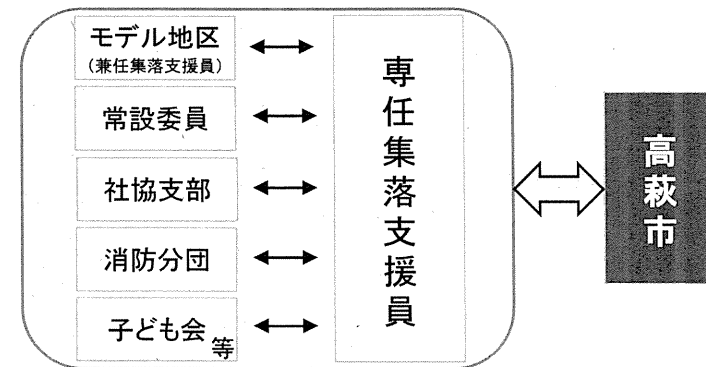
● 高萩市集落支援員

モデル地区内の調整役を担う兼任の集落支援員を設置する。また、より広範囲なエリアのコミュニティ活動を推進するため、その牽引役となる専任の集落支援員を設置する。

専任の集落支援員の活動範囲は、旧中学校区(旧君田中学校区、旧松岡中学校区、秋山中学校区、高萩中学校区)の1エリアを想定している。

[拡充] 集落支援員(兼任) 742千円 4名
モデル地区の調整業務 1名/地区
[新規] 集落支援員(専任) 2,625千円 1名
広範囲なエリアの調整業務 1名/エリア

※集落支援員に係る経費については特別交付税措置あり



(専任集落支援員 活動エリア)

● 専任集落支援員の役割

- ・ 活動エリア内に拠点を置き、コミュニティに関する相談を行うなど、地域住民の窓口となる。
- ・ 活動エリア内の兼任集落支援員や各種団体等と連携をとり、地域の現況等(独居等世帯や空家、危険箇所の把握等)を包括し、市へ報告する。
- ・ コミュニティ活動の活性化を図るため、地域行事など伝統文化の継承やイベント等の企画及び実践をする。